

Profile



クリストフ・エーレンフェルナー Christoph Ehrenfellner, Violin



ヘルベルト・ミュラー Herbert Müller, Viola

江崎萌子 Moeko Ezaki, Piano

1993年東京生まれ。第58回全日本学生音楽コンクール東京大会第二位。第2回桐朋ピアノコンペティション第一位。第80回日本音楽コンクールピアノ部門入選。桐朋女子高等学校音楽科にて玉置善己に師事、2012年ピアノ科首席卒業。その後渡仏しパリ・スコラカントロムにてT.バラスキエスコに師事し、2013年審査員満場一致最優秀で修了。現在パリ国立高等音楽院にて上田晴子、フランク・ブライに師事する。これまでに、鶯谷宰、今泉紀子、村田理夏子、長谷正一、千葉ゆかりに師事。

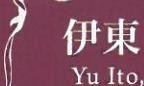
2012年バキスタン日本大使に招待されイスラマバードの日本大使館、イタリア大使館、トルコ大使館において演奏会を行う。2013年より調布市せんがわ劇場サンデー・マティネ・コンサート、那須野が原ハーモニーホールにて日本音楽コンクール入賞者によるコンサート、紀尾井ホールにて東日本大震災復興支援チャリティコンサート、カワイ表参道コンサートサロンパウゼにてリサイタル、トレモロ会コンサート、ショパン・フェスティヴァルin表参道ランチタイムコンサート等、多数の演奏会に出演。

室内楽にも力を入れ、これまでに藤井一興、徳永二男、上田晴子、金子陽子、M.ヘンツ、F.サルク、J.ブレ、J.ムイエール他に師事。2014年ザルツブルク=モーツアルト国際室内楽コンクール第二位。現在パリ地方音楽院室内楽課程E.シュトロッセールクラスに在籍し、ラヴェル晩年の地モンフォール・ラモリでの音楽祭やパリ・フィルハーモニーホール大ホールをはじめ、日本・フランス各地で演奏する。

本山耀佑 Yosuke Motoyama, Contrabass

12歳よりコントラバスを始め、東京藝術大学にて永島義男、山本修の各氏に師事。卒業時に同声会賞を受賞。現在は同大学院音楽研究科に在籍し池松宏、吉田秀の各氏のもとで研鑽を積み、ティーチングアシスタントを勤める。昨年、東京都交響楽団のコントラバス奏者オーディションに合格し、4月より同楽団に出演している。

1975年ザルツブルグ生まれ。ウィーン少年合唱団に在籍した。ヴァイオリンおよび声楽をザルツブルクモーツアルテウム音楽院で学び、ウィーン音楽大学ではゲルハルトシュルツおよびレオポルドマルクの指揮科に在籍。ウィーンジュネスオーケストラ、カンマーフィルハーモニー交代契約者でもある。室内楽の分野でも幅広く活動。世界各地で多彩なパートナーたちと演奏し、ザルツブルグ音楽祭、ルツェルン音楽祭、ブタペストバルトーク音楽祭に出演した。最近、ソリストとしてウィーン楽友協会においてリサイタルデビュー、モーツアルトのヴァイオリン協奏曲5番を Juvenil de Caracas オーケストラと共に、Infatil de Caracas オーケストラを指揮した。第一回仙台国際音楽コンクールに招待された唯一のオーストリア人演奏家。作曲活動においては、この1ヶ月の最初の主要作品である古代ローマ詩人オビディウスの「愛の抒情詩」から題材をとった室内音楽劇がウィーンで大盛況を博した。これに喚起され、彼自身の音楽を演奏するためアンサンブル シファノイア (Ensemble Schifanoia) を結成した。



伊東 裕

Yu Ito, Violoncello

奈良県生駒市出身。6歳よりチェロを始める。日本演奏家コンクール小学生部門第1位、およびグランプリ受賞。泉の森ジュニアチェロコンクール小学生部門及び、中学生部門金賞。大阪国際音楽コンクール中学生部門第1位、及びジャーナリスト賞、大阪府知事賞受賞。日本音楽コンクールチェロ部門第1位受賞、及び徳永賞受賞。

これまでに長岡京室内アンサンブル、関西フィル、日本センチュリー交響楽団、神戸市室内合奏団、芸大フィル他オーケストラと協演。小澤国際室内楽アカデミー、音楽塾オーケストラ、また中之島国際音楽祭、いこま国際音楽祭、武生国際音楽祭、ムジークフェスティバルなら、北九州国際音楽祭等に参加。

藝大にて福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。これまでに斎藤建寛、向山佳絵子、山崎伸子、中木健二各氏に師事。フィリップ・ミュレール、フランス・ヘルメルソン、アルト・ノラス、ダヴィット・ゲリンガス、グスタフ・リビニウス、アントニオ・メネセス各氏のマスタークラスを受講。東京藝術大学音楽部弦楽科を首席で卒業。現在同大学音楽研究科修士課程に在学中。

1957年ウィーン生まれ。ウィーンコンセルヴァトリウムで学び、首席で卒業。更に、ウィーン音楽大学でジークフリート・フューリンガー教授に師事した。1986年にウィーン交響楽団に加わり、1986年よりビオラ第一ソロを務める。ウィーン交響楽団では、ラファエル・フリューベック・ド・ブルゴス、レオポルド・ハーガー、ペーター・ギュルケ、ウルフ・シルマーといったマエストロの指揮のもと、しばしばソリストとして出演。またオーケストラの海外ツアーにおいて、モーツアルトのサンフォニーコンセルタンテまたはR.シュトラウスのドンキホーテのような作品をソロで演奏。近年は、ローレンスフォスターの指揮下で、リストボンブルベンキンオーケストラや、ポーランド・ルブリンのヴィニアフスキーフィルハーモニーとも出演している。長年にわたりグリンカ・アレンコフ・カルテットと共に室内楽を演奏。また何年もの間、Vienna Concertino のメンバーとして、欧米においてコンサート、ラジオレコーディング活動をしている。

1992-1994年は、ウィーン音楽大学で講師を、1984年からは、ウィーンコンセルヴァトリウムにてヴィオラクラスの主任を務める。

Access

白寿ホール Hakuju Hall

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5
(株)白寿生科学研究所本社ビル7F
TEL 03-5478-8867



電車：代々木公園駅(千代田線)出口1より徒歩5分

バス：代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分

バス：「富ヶ谷」停留所下車徒歩1分